

事業概要

活性化に向けた具体的な取組を行う地域に対して、地域興しのスペシャリスト(地域活性化伝道師)を紹介。
 現地の産・学・官に対し、地域活性化伝道師による現地指導・助言を行う。

地域活性化伝道師登録数、実績及び活用方法

○地域活性化伝道師登録数：304名（平成25年4月1日現在）

※事務局HP (<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/ouentai.html>) において公開
 分野別登録数（重複を含む）

1. 地域産業・イノベーション・農工商連携	2. 農・林・水産業	3. 観光・交流	4. 環境	5. まちづくり	6. 地域コミュニティ・集落再生	7. 地域医療、福祉・介護、教育	8. 地域交通・情報通信
95人	43人	109人	15人	136人	53人	15人	13人

○平成24年度実績：地域活性化伝道師（延べ13名）を全国12地域に複数回派遣

※参考URL (<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/siryou/pdf/h24houkokusho.pdf>)

- 活用方法：①各自治体及び団体等が、課題解決への取組みに適した伝道師を選び、任意に招へいや相談を行う。
 ②地域活性化統合事務局が、「総合コンサルティング支援」の一環として、取組熟度が相当程度高く、支援する意義が特に高いと判断される場合に、予算の範囲内で地域活性化伝道師を当該地域へ派遣する。

モデル地域における指導内容イメージ

①地域のリーダーの育成

地域活性化伝道師の講義を受け、取組の立ち上がり段階における実行プランの企画、取組の実施体制の構築を後押し。



②取組の実施段階

実行プランに基づく取組を実施拡大していく上で必要となる人員を確保し、スキルアップ研修などの実施を後押し。



③取組の事業化段階

地域リーダーが中心となって、地域の産学官連携で商品開発を進め、事業化に必要な経営や広告・宣伝のノウハウを伝授。



④販路拡大・雇用創出

マーケティング・販路拡大の支援を実施することにより、地域の新たな産業として定着。これがモデルとなり、地域間連携により、広域的に波及。



地域の成長力強化・雇用創出に資するよう、これを担う地域人材力の強化について地域活性化伝道師が切れ目なく支援